

進路だより

平成25年7月19日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第1号

☆高等部実習～ 校内実習・体験実習・現場実習☆ 6月10日から2週間

高等部では、6月10日（月）から6月21日（金）の2週間、校内・体験・現場実習に取り組みました。校内実習では、初日にガイダンスを行い、各種目に分かれて取り組み、最終日には即売会を行いました。

今年の開講種目は、木工、窯業、紙工、縫製、S4の5種目でした。取り組んだ製品の内容や、様子を紹介します。

木工

木工班では、小学生用ベンチを4台、カラフル小物入れマス（48個（レッド、オレンジ、イエロー、グリーン））そして鉛筆立てを作りました。ベンチは、大型作品なので組み立てるのにチームワークが必要で、お互いに声をかけ、正確さだけでなくけがをしないように注意して作りました。このベンチは、東北の震災の被害を受けた小学校に寄贈する予定です。



紙工

紙工班では、和紙シール、ポチ袋、和紙メモ帳、一筆箋、和紙のハガキを作りました。はじめは慣れない作業に戸惑っていた生徒達も、先生と一緒に取り組むことでだんだんと慣れてスムーズに各作業をこなすことが出来ました。特に紙すきは、全員が手順をしっかり覚え、美しい紙が漉けるようになりました。

窯業

窯業班では、丸小鉢、カップ、もよう皿等を主に製作しました。素焼き、本焼きと2週間で2度の窯入れを行います。はじめの1週間は、ひたすら制作と磨きを行いました。素焼きを終え、2週目では、釉薬をかけて本焼きをしました。窯から出したまだ温もりの残る製品を、生徒達は嬉しそうに手にとっていました。



縫製

スウェーデン刺繍のコースターや、なべつかみ、さおりのポーチにペンケース、ステンシルの巾着やバックなどを作りました。自分たちの作った作品に、「かわいい」「ほしい」など満足そうな声があがりました。みんな、それぞれ頑張った10日間でした。

S4

今年度の活動方針は、「即売会を盛り上げよう」で、各種目の販売ポスターと額を制作しました。額は、S4おなじみのトイレットペーパー紙粘土を素材づくりからはじめ、ストライプ柄にビーズをまぶして仕上げました。「フレックスフレーム」と名付けたその額に、ポスターを合わせて即売会中にPR活動をし、素敵な演出となりました。

この間、Bコースの2年生5名は、体験実習として三洋ハートエコロジー株式会社やエルアイ武田など5社に実習に出ました。2年生にとっては、初めて体験する2週間の実習。毎日働くことのしんどさや仕事の厳しさ、職場の人の優しさにふれる貴重な体験となりました。

また、高等部3年生Bコース5名は卒業後の雇用を視野に入れた現場実習に取り組みました。これまでの学習としての体験実習とは異なり、就職試験のような意味合いの現場実習に「将来ここが自分の職場になるかもしれない!」という真剣な表情で各生徒が実習先に足を運んでいました。現場で一所懸命、挨拶や仕事をする生徒達の姿を見ていると巡回指導の我々教員も緊張感が高まります。

☆PTA施設見学会☆

6月中旬から7月にかけて守口・門真市の福祉の事業所を見学しました。日数にすると8日間で10ヶ所の事業所の見学を設定しました。見学には自転車で来られる方がほとんどですが、前半は雨に降られる日もあり、後半は夏の日差しが厳しくなり、事業所まで来るのも一苦労でした。

見学会の多くは①まず事業所の概要を説明していただき②ひと通り見学③質問の時間を設けていただくという流れです。「守口・門真市福祉施設案内冊子」を読んで予め質問することを考えて来られた方もおられました。

今年新しく開所した事業所は保護者の関心も高く、見学の人数が多かったです。門真の就労継続支援B型の「アースファーム」は、水耕栽培の種植えや紙袋作りの内職作業をされています。見学の日には千羽鶴を折る作業をされていました。利用者同士で教えあひながら取り組まれていました。

守口の生活介護「自立サポートきくすい」は軽作業の様子や入浴の設備を見学しました。利用者の方のお気に入りのシャンプーや浴用タオルがたくさん並んでいました。見学者に良く見てもらおうと張り切って作業をしておられる様子が微笑ましかったです。

その他、高等部の保護者対象に寝屋川（3年のみ）・旭区など他市の施設見学会も実施しました。守口・門真市の事業所が飽和状態となりつつあり、利用が厳しくなっているため、周辺他市の事業所にも関心を持っていただく機会を設けています。また秋には保護者からの希望のもとに見学会を実施する予定です。

～見学の感想～

・アースファームは設備がこれからという感じでしたが、新しくすごくきれいでした。水耕栽培がメインの作業ですが、利用者さんが希望されている事に応じてパソコン等をされている方もいらっしゃいました。何事も本人の意欲次第というのは魅力的でしたが、人の手を借りないと難しい子には、介助の事や仕事の内容などいろいろ問題があります。しかし将来性と柔軟性があってとても好印象でした。



☆中学部体験学習☆

7月5日(金) 中学部3年生は、「生活」の進路学習でグレース工房とジェイ・エス ステージの2つのグループに分かれて作業所体験をしました。

グレース工房では、乾燥唐辛子の袋詰め作業を見学してから、実際にやらせてもらいました。計量や袋詰め、乾燥剤入れ、袋詰めした唐辛子を台紙に貼っていく作業を、緊張した表情で20分くらい体験しました。短い時間でしたが「むずかしかった」「緊張した」「疲れた」といった感想が聞かれました。製品になって誰かに買ってもらうことを考えながらの作業は、貴重な体験になったと思います。

ジェイ・エス ステージでは、ミュージック・ケアとバリ取り作業の体験をしました。広い食堂兼活動スペースで輪になって利用者さんと一緒に座り、音楽に合わせて手足を動かしたり、マットに寝ころんで身体を動かすミュージック・ケアで心身にリフレッシュすることができました。2階の作業場でのバリ取りも、施設の方から「みんな落ち着いてるね」という言葉がもらえるほど、よそいきの顔で作業に集中していました。ひとりひとりほめてもらいみんな嬉しそうでした。最後に「ありがとうございました。」と大きな声で挨拶してバスに乗りこみました。半日の体験でしたが、高等部卒業後の進路のイメージが少し湧いたと思います。



☆同窓会総会が行われました☆

5月12日(日)に第17回同窓会定例総会が体育館で行われました。

平成7年度卒業の方をはじめ同窓生は79名、保護者、教員を加え100名以上の人々が集まりました。

総会では昨年度の卒業生(新入会員)の紹介がありました。みなさん、暖かい拍手で同窓会に迎えられました。そして、新役員の選出も行いました。

総会終了後はレクリエーション。ジュースやお茶を飲んだり、お菓子を食べたりしながら、ソフトバレーボールやバドミントンで懐かしい友と汗を流す人、得意のカラオケを熱唱する人、おしゃべりに興じる人など、楽しい時間はあっという間に過ぎました。

最後に全員で記念写真を撮影し、再会を約束しての解散となりました。次回同窓会は11月10日(日)に実施を予定しています。



～地域と共に学ぶ～

本校は「地域との連携」、「個を生かす教育」、「教育の創造」をキーワードに学習を展開しています。もちろん個々の児童生徒に「最も適した社会参加は何か？」を考え、実現していく進路指導においても、この3つのキーワードは非常に大切なものです。日々、進路業務にあたりながら学習と進路は両輪であって揃わないとうまく前には進まないものだなと感じています。

そのような事を考えながら、今年度も定例の高3福祉懇談会やPTA施設見学会、施設案内冊子の更新発行にPTA進路医ケア委員会と協働しながら取り組みました。

<高3福祉懇談会>

5月28日に定例の高3福祉懇談会を開催しました。高3保護者の方と地域関係機関(大阪府障がい者自立相談支援センター、守口市障害福祉課、門真市障がい福祉課、守口市立わかさ・わかすぎ園、門真市障がい者相談支援センター ジェイ・エス)に参加して頂き、来春の卒業後の進路決定に向け、顔合わせや意見交換を行いました。今春よりスタートした障害者総合支援法に基づいて、今後の動向や各機関の事業内容、福祉サービス利用にあたっての基本的な仕組みについて説明を受けました。後半は各市別に分かれ具体的な質疑応答が真剣ではありながらも和やかな雰囲気で行われていました。

<施設案内冊子の発行>

5月中旬に、守口、門真市内の日中活動系の福祉事業所をまとめた施設案内冊子第4版を全校配布しました。今年は自立サポートきくすい(守口市:生活介護)、アースファーム(門真市:就労継続支援B型)の二つの事業所が新規立ち上げとなっています。保護者の方からは「我が子の卒業の時には受け入れをして頂けるのでしょうか。」と、よく相談を受けます。ほんとうに、これからの地域福祉施設の動向が気になる場所です。今後も日々の地域連携の中で正確かつ迅速な情報提供に努めたいと思っています。保護者の皆様も、この冊子を有効活用下さい。

<守口市通所サービス部会、門真市障がい福祉を考える会との連携>

各市において地域福祉を計画し、推進していくために開催されている守口市通所サービス部会、門真市障がい福祉を考える会に4年前から進路担当が参画をしています。この会議は両市内の日中活動サービス提供事業所の代表の方で構成されている会議で、いわゆる進路先としてお世話になっている事業所の方ということになります。

一昨年には同会議を本校で開催して頂いたことがあります。その日の授業見学の際に守口市の就労継続支援B型の「まんまる」より、木工科の生徒達がテーブルや椅子の発注を受けました。昨年度一年をかけて授業で作成し、すべて搬入を済ませた2月には生徒達が「まんまる」を訪問し、お店でおいしいおにぎり弁当を頂きました。地域福祉と共に取り組めた有意義な学習でした。まさしく地域連携ですね。



<門真サロン活動>

また、門真市障がい福祉を考える会では昨年度より門真市保健福祉センターの一階で「障がい者と市民のふれあいコーナー」を開設されています。門真市内の福祉事業所が授産製品の販売や様々なイベントの企画に取り組みながら市民の方との交流、理解啓発を目的に活動されています。一度ぜひ、足を運んで頂き、地域福祉事業所を知って頂くことにつながればと考えています。